

本 会 記 事

一般社団法人日本植物病理学会令和6年度第3回評議員会議事録

開催日時：2024年8月9日（金）～8月22日（木）

開催場所：メール審議

出席者：

秋光和也, 秋野聖之, 青木孝之, 有江 力, 中馬いづみ, 藤 晋一, 古屋成人, 萩原寛之, 濱本 宏, 長谷 修, 曳地康史, 平塚和之, 平田久笑, 稲田 稔, 磯貝雅道, 海道真典, 兼松聡子, 小林括平, 児玉基一朗, 草場基章, 眞岡哲夫, 増田 税, 三瀬和之, 守川俊幸, 森山裕充, 中保一浩, 中島千春, 大里修一, 大島研郎, 大藤泰雄, 佐藤 衛, 志村華子, 篠原弘亮, 清水将文, 塩見 寛, 相馬 潤, 須賀晴久, 鈴木信弘, 高垣真喜一, 高野義孝, 竹本大吾, 竹下 稔, 東條元昭, 土佐幸雄, 津田新哉, 柘植尚志, 渡辺京子, 山次康幸, 吉田重信, 善林 薫, 一瀬勇規会長, 高橋英樹副会長, 染谷信孝庶務幹事長
以上評議員53名（定員53名）

審議事項

1. 令和7年度大会開催準備に係る仮払金について

令和7年度大会開催準備に係る仮払金として300万円を支出することについて、異議はなく承認可決された。

2. 第5回日韓シンポジウム開催準備に係る仮払金について

第5回日韓シンポジウム開催準備に係る仮払金として120万円を支出することについて、異議はなく承認可決された。

2024年度第2回（一社）日本農学会運営委員会議事録

日 時：2024年9月9日（月）15:00～15:40

場 所：Web（Zoom）会議

出席者：

大杉 立会長, 金子豊二副会長, 小崎 隆副会長, 羽藤 堅治監事, 伊東明子（園芸）, 松下範久（樹木医）, 米山 香織（植調）, 片岡美喜（地域経）, 郭 威（育種（代））, 大井田寛（応動昆（代））, 矢沢勇樹（海水）, 太田能之（家禽）, 古橋 元（国地開/フード）, 松村一善（砂丘）, 青木直大（作物）, 鈴木雅京（蚕糸）, 中川貴之（獣医）, 染谷信孝（植病）, 小山寛喜（水産）, 塩出大輔（水工）, 安永円理子（生環）, 齋藤勝晴（草地）, 山本清龍（造園）, 松田二子（畜産）, 渡邊 学（動遺育）, 神谷岳洋（土肥）, 上吉原裕亮（熱農）, 植山秀紀（気象）, 松本浩一（経営）,

大浦裕二（農経）, 葛山智久（農化）, 建石邦夫（農作）, 伊藤晋作（農薬）, 松脇貴志（繁殖）, 中塚博子（ペドロ）, 齋藤継之（木材）, 青木謙治（木加工/木質（代））, 嶺田 拓也（有機）, 五月女格（食料工）, 古橋賢一（農施）, 清水 庸（農情（代））, 西田和弘（農村工）, 栗田英治（農計（代））, 杉野弘明（復興）, 林 雅秀（林経）, 黒住圭子（事務担当）

欠席者：

佐藤秀一監事, 酒井 徹（シス農）, 堀田和彦（実農）, 龍原 哲（森計）, 高橋輝昌（森立）, 土肥哲也（生態）, 山本和貴（応糖）, 春原由香里（雑草）, 陣川雅樹（森林）, 吉田 誠（木保存）

議長：大杉会長

進行：葛山庶務担当常任委員

議事：

- 2024年度第1回日本農学会運営委員会議事録の承認について
- 2024年度（第95回）日本農学大会の報告
- 2024年度日本農学会シンポジウムの準備状況について
- 日本土壌微生物学会の退会報告
- 日本農学会, 日本農学アカデミー, (公財) 農学会共催シンポジウムについて
- 2024年度日本農学賞受賞候補者の推薦および（一社）日本農学会総会について
- 2025年シンポジウムテーマ募集について
- 2025年度常任委員担当学会について
- その他

・科研費増額要望書-文部科学大臣に提出の報告

議事：

- 2024年度第1回日本農学会運営委員会議事録の承認について
葛山庶務担当常任委員より資料に基づき説明があった。すでにメールにて確認いただいているものの、修正点があったら事務局まで連絡してほしい旨報告があった。
- 2024年度（第95回）日本農学大会の報告
葛山庶務担当常任委員より資料に基づき報告があった。今回は会場参加およびオンライン配信のハイブリッドで開催、会場参加133名（関係者含む）、オンライン視聴者155名の参加があったことが報告された。
- 2024年度日本農学会シンポジウムの準備状況について
葛山庶務担当常任委員から資料に基づき準備状況について

て説明があった。9月5日現在オンライン参加申込者数171名。会場参加21名、昨年度同時期より少ない状況なので、関係者や各学協会内で周知および参加の呼びかけのお願いがあった。

4. 日本土壌微生物学会の退会報告

葛山庶務担当常任委員より資料に基づき説明があり、運営委員会に先立ち開催された理事会で退会が承認されたことが報告された。

5. 日本農学会、日本農学アカデミー、(公財)農学会共催シンポジウムについて

葛山庶務担当常任委員より資料に基づき、11月9日に、日本農学アカデミー、公益財団法人農学会、一般社団法人日本農学会共同主催で「能登の今—令和6年能登半島地震による農林水産業の被害と復興への展望—」のシンポジウムが開催されることが報告された。

金子副会長、大杉会長より、タイトル変更について説明があった。また、総合討論の司会として金子副会長が行うことが報告された。

6. 2024年度日本農学賞受賞候補者の推薦および(一社)日本農学会総会について

葛山庶務担当常任委員より資料に基づき、2025年度日本農学賞受賞候補者推薦について説明があった。推薦依頼は9月11日に事務局より発信、締切は11月29日となる。多くの学協会から推薦をしてほしい旨、お願いがあった。また、2025年2月8日(土)に開催される第8回総会、日本農学賞選考会について、関係者にご予定していただくよう周知の依頼がされた。

7. 2025年シンポジウムテーマ募集について

葛山庶務担当常任委員より資料に基づき、事務局の不手際で募集依頼が大幅に遅れたことが説明され、9月20日

(金)までにテーマの提出のお願いがあった。

また、現在は1テーマの提出があったことが報告された。

8. 2025年度常任委員担当学会について

葛山庶務担当常任委員より資料に基づき、2025年度からの常任委員について確認された。

また、2024年度会員代表者・運営委員名簿について、変更があった場合は、メールでの報告だけでなく、調査票(変更届)を提出していただくようお願いがあった。

9. その他

1) 科研費増額要望書—文部科学大臣に提出の報告

葛山庶務担当常任委員より、9月6日に科研費増額要望書を文部科学大臣に提出したことが報告された。大杉会長から、文部科学大臣に面談した状況が説明された。文部科学大臣だけでなく、内閣総理大臣、財務大臣など提出先になっている大臣に提出し、理解を深めていく努力をしていくこととなった。今回、これだけの人文科学、人文社会学の広がりでの活動ができたので、今後、全学術分野からなる協議会などを立ち上げ働きかける構想もあり、そのような動きがあった場合は、学協会の皆さんにご協力をお願いしたい旨報告があった。

2) その他

葛山庶務担当常任委員より、理事会で議論されて以下2件について報告された。

- ・日本農学会の会員数を増やしていただくこと(会員募集)が検討された。

運営委員から、会員数が少ない学会は財政的な問題も大きいので、分担金を見直すことも一考かとの意見があった。

- ・日本農学会の名称だと、連合体だという事がわかりにくいので、名称変更の検討も議論された。

以上